

おいしい笑顔をお届けします



シマダヤグループ  
社会・環境報告書

2022



シマダヤ株式会社

人事総務部

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
TEL: 03-5489-5511 / FAX: 03-5489-5507 <https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



グリーンプリンティング認定制度を取得している工場での印刷を行っています。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な、水なし印刷を採用しています。



シマダヤ株式会社は、政府主催の豊かな低炭素社会を目指すキャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



# おいしい笑顔をお届けします

これは、私たちシマダヤの経営コンセプトです。  
たくさんの人に「おいしい!」の笑顔をお届けしたい。  
私たちシマダヤは、「安全・安心」でおいしい商品を  
皆様にお届けするために、社員一丸となって、  
その実現に向け全力で取り組んでいます。



## Contents

- P.3 シマダヤグループの事業
- P.5 トップメッセージ
- P.7 **特集1** 食品ロス削減への取り組み  
シマダヤグループは、グループ一体となって食品ロス削減に取り組んでいます。
- P.9 **特集2** 社会・環境に配慮した商品開発  
シマダヤグループは、商品を通して社会課題の解決に向け取り組んでいます。
- P.11 **シマダヤグループの社会・環境活動報告**  
シマダヤグループは、事業活動を通じてSDGsへの貢献に取り組んでいます。
- P.11 ●安全・安心への取り組み
- P.12 ●働きやすい環境づくり
- P.13 ●コンプライアンス
- 社会貢献活動
- P.14 ●環境取り組み
- P.18 第三者意見

### 編集方針

本報告書は、当社のISO14001適用事業所において、経営コンセプト「おいしい笑顔をお届けします」を実現するための事業活動を通じた社会・環境取り組みの情報を提供することを目的に発行しています。

### 対象期間

2021年4月から2022年3月（活動については直近のものも含む）

### 報告対象範囲

シマダヤグループのうち、シマダヤ及びISO14001適用事業所である工場を報告範囲としています。

### 発行

2022年9月発行

### ウェブサイトのご案内

シマダヤのウェブサイトでは、本報告書をダウンロードしていただける他、商品に関する情報など様々な関連情報をご紹介します。

<https://www.shimadaya.co.jp>

めんのシマダヤ



### SDGsについて

「SDGs (エスディー・ジーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の目標です。SDGsには17のゴールがあり、更に、それを実現するために必要な169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



# シマダヤグループの事業

シマダヤは、1931年の創業以来、めん製造業界のリーディングカンパニーとして「めん」を通して日本の食文化の発展に広く貢献してまいりました。私たちが独自の技術を磨き、安全で安心かつ魅力ある商品を作り続けるのは、お客様の「おいしい笑顔」が見たいからです。

これからもお客様の健康で豊かな食生活に一層貢献できる企業でありたいと願い、皆様に愛され信頼される「シマダヤ」を目指して、社員一丸となってその実現に向け全力で取り組んでまいります。

## シマダヤのCIマーク



シマダヤのCI(コーポレートアイデンティティ)マークは、「お客様とシマダヤをおいしい笑顔で結ぶ」という意味を表しています。2つの円は、お客様とシマダヤの「心のクロスコミュニケーション」を意味しています。中央の笑顔は、「作る喜び・食べる喜び・お客様の笑顔」を表現しています。

## 事業内容

シマダヤは、**家庭用事業**、**業務用事業**の分野で事業を展開しています。お客様のニーズや用途にあった商品を幅広く取りそろえ、より多くのお客様へ「おいしい笑顔」をお届けするため、おいしく楽しい食シーンをご提案しています。

### 家庭用事業

チルド麺と冷凍麺を中心に、うどん・そば・ラーメン・冷し中華・焼そばなど、素材麺から具付き麺まで、バラエティ豊かな麺類を、主にスーパーマーケット・小売店・コンビニエンスストアなどで販売しています。



#### 「流水麺」そば

さっと水でほぐすだけで食べられる、ゆでる必要のないそばです。風味豊かなそば粉を使用し、のどごしと歯切れの良さ、そばの味わいが楽しめます。



#### 冷凍「健美麺」食塩ゼロ 稲庭風うどん 3食(国産小麦粉使用)

国産小麦粉を使用した、のどごしのよさと強いコシが特長の、からだにやさしい食塩ゼロのうどんです。凍ったまま半分に割って使える<ミニダブル>製法です。

### 業務用事業

うどん・そば・ラーメン・パスタなどの冷凍麺を中心に、従業員食堂や学校給食、高速道路のサービスエリアといった外食産業、惣菜などの中食産業向けに販売しています。また、東南アジア、北米、EU、オセアニアなどに輸出しています。



#### 「真打」北海道産小麦粉使用 太打ち ちぢれ中華めん<ミニダブル>

北海道産小麦粉を使用し、透明感のある黄色みの強い色調と、コツコツとした硬さが特長のラーメンです。



#### 輸出用「真打」稲庭風うどん <ミニダブル>

稲庭うどんの艶となめらかさをモチーフにした、なめらかなのどごしが特徴の細めのうどんです。

## シマダヤグループ行動規範

シマダヤグループ行動規範とは、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的に行動に移す際、守るべき重要な事項を、主にコンプライアンスの観点からまとめたものであり、シマダヤグループのあらゆる事業活動において優先されます。

シマダヤグループでは、事業活動の中で行動規範とSDGsの17のゴールを紐づけて活動しています。詳しくは、特集と社会・環境活動報告のページをご覧ください。

- 規範1 安全な商品とサービスを提供します
- 規範2 お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします
- 規範3 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます
- 規範4 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます
- 規範5 安全で働きやすい職場環境の確保に努めます
- 規範6 よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います

## シマダヤグループ概要

ISO14001適用事業所(2022年9月現在)

**シマダヤ株式会社**

設立 1949年3月  
 資本金 10億円  
 事業内容 麺類及び関連食品の販売  
 所在地 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
 売上高 312億円(2022年3月期)  
 事業所数 本社1、支店3、ロジスティクスセンター1、開発研究所1  
 登録日 2004年7月16日

代表取締役社長  
木下 紀夫

**シマダヤ東北株式会社** 本社(宮城県大崎市)

代表取締役社長  
紺野 賢一

「安全・安心」な商品作りを最重要課題と位置づけ、日々努力を続けております。

工場名 登録日  
 ⑨古川工場(宮城県大崎市) ●2009年 3月23日  
 ⑩郡山工場(福島県本宮市) ●2009年 3月23日  
 ⑪仙台工場(宮城県仙台市) ●2015年12月21日

**シマダヤ西日本株式会社** 本社(滋賀県近江八幡市)

代表取締役社長  
鈴木 正幸

「安全・安心」な「正品」を安定供給できるよう、日々努力してまいります。

工場名 登録日  
 ⑥滋賀工場(滋賀県近江八幡市) ●2012年 2月28日  
 ⑦兵庫工場(兵庫県穴栗市) ●2015年12月21日  
 ⑧岐阜工場(岐阜県安八郡) ●2009年10月16日

**シマダヤ関東株式会社** 本社(東京都昭島市)

代表取締役社長  
岩田 功

SDGsへの取り組みを強化し、より「安全・安心」な商品作りに努めてまいります。

工場名 登録日  
 ①東京工場(東京都昭島市) ●2004年 7月16日  
 ②松戸工場(千葉県松戸市) ●2009年10月16日  
 ③群馬工場(群馬県前橋市) ●2011年 2月28日  
 ④前橋工場(群馬県前橋市) ●2010年 2月23日  
 ⑤埼玉工場(埼玉県深谷市) ●2010年11月30日



# 食品メーカーとして安定供給を守り 事業を通じて社会課題の解決に貢献します。

## 厳しい環境下で売上を伸ばし 生産合理化や経費削減などにより増益達成

2021年度はコロナ禍による影響が続く中、世界でサプライチェーンが滞り、原材料や資材、エネルギーの価格高騰に見舞われました。2022年2月に起きたウクライナ危機は、そうした状況に一層拍車をかけています。

シマダヤグループの営業状況においては、TVCM放映の再開や「流水麺」、「鉄板麺」の広告の実施、西日本専用商品の投入などにより、販売拡大に努めてきましたが、「流水麺」については、夏季の天候不順を受けて販売が前期を下回り、家庭用チルド麺の売上が減少しました。一方、新規導入を獲得した家庭用冷凍麺と、西日本での拡大が奏功した業務用冷凍麺は、それぞれ売上を伸ばしました。

利益面では、原材料・資材価格の高騰やエネルギーコスト、物流費などの大幅な上昇に対し、生産合理化や経費削減に取り組むとともに2022年3月には家庭用・業務用商品の価格改定を実施し、増益に寄与しました。

営業活動が制限され、厳しい事業環境が続く中で売上高については、まだコロナ禍前の2019年度の水準に回復していませんが、広告を実施しつつ経費削減に取り組んだ結果、全体の業績は増収・増益となりました。

## SDGsへの取り組み強化を打ち出した 2カ年の経営計画を策定・始動

シマダヤグループでは、2022年度及び2023年度の2カ年を期間とする新たな経営計画を策定し、スタートさせました。これまでの経営計画は、3カ年を期間としてきましたが、コロナ禍とウクライナ危機による影響が長期化すると見られ、先行きが不透明・不確実で見通しの困難な事業環境が続くと想定し、従来

よりも短期間で取り組みを進めていく必要があると判断しました。

また、かつてない社会変化に直面した私たちは、原材料や資材、エネルギーの大切さを痛感し、極めて重要な課題と捉えるようになりました。同時に、気候変動が食料供給に及ぼす影響も拡がりつつあり、シマダヤグループにとってサステナビリティへの対応が、食の提供という事業の根幹にかかわる状況となってきました。

これからの時代は、社会課題の解決が企業の存在意義となり、事業を通じてその解決を提案する企業でなければ、ステークホルダーの信頼を得られず、生き残っていくことができないでしょう。

そうした考えのもとシマダヤグループは、2年間の経営計画において内部統制の強化を図り、安定した利益と売上成長の確保によって事業基盤を維持しつつ、SDGsへの取り組みに注力していく考えです。

## 新たな中期環境目的・目標では SDGsテーマに紐付ける形で目標設定

中期環境目的・目標(2019年度～2021年度)は、最終年度において重点テーマの「廃棄物の削減並びに有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動の実行」のうち、ロジスティクスセンターや冷凍倉庫の「廃棄物の削減」と、営業部門における「有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売」が未達成となりました。これは、2021年8月に気温の低下など天候不順が続いたことにより、「流水麺」や冷し中華の販売が減少し、多くの廃棄物が発生したためです。

他の重点テーマは達成しましたが、食品メーカーとして最も重視する項目が未達となったことは重い事実です。廃棄物を発生させないことは難しいですが、運用面での課題など引き続き削減への取り組みを続けていきます。

新たな中期環境目的・目標は、前述の新経営計画に合わせて2022年度及び2023年度の2カ年を期間とし、有益な社会・環境影響をもたらす活動を実践し、持続可能な社会の実践に貢献するため、「エネルギー由来CO<sub>2</sub>排出量の削減」「廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減」など6項目を重点テーマに定め、各項目を関連するSDGsテーマに紐付ける形で目標を設定しています。継続したテーマになりますが、社会課題の解決への提案として、特に「簡便」、「健康」価値商品の開発・拡売、プラスチック使用量の削減に取り組んでいきます。

## 事業を通じた社会課題解決への姿勢を明確にし、 シマダヤのブランド力を高めていく

今期以降の商品戦略では、SDGsへの取り組み強化の一環として、従来の「5K」(健康・簡便・高品質・経済性・買い置き)に、国産・環境を加えた「7K」を打ち出していきます。国産小麦粉など国産原料の使用は、輸入原料の物流にかかわるCO<sub>2</sub>排出量の削減につながるだけでなく、原料調達の安定確保により食の供給を守っていくものであり、食品メーカーとして、これからますます重要な取り組みになると考えています。

シマダヤグループは、「おいしい笑顔をお届けします」という経営コンセプトのもと、今後は事業を通じて社会課題の解決を提案する姿勢も明確にし、社会に貢献してまいります。そして、私たちの事業を通じた活動の積み重ねがシマダヤブランドを更に高めるものとなり、成果として表れることで、ステークホルダーから信頼され、選ばれる食品メーカーになることを目指してまいります。

代表取締役社長

木下 紀夫







特集 1

# 食品ロス削減への取り組み



シマダヤグループでは、日本国内において、本来食べられるにも関わらず廃棄されている食品が多く発生している現状を踏まえ、食品メーカーの責務として商品開発からお客様のお手元に届くまで、サプライチェーンの中で食品ロスの削減に取り組んでいます。

## 製造

### 工場における取り組み

シマダヤグループ工場では、日常的な清掃やマニュアル化、設備保全等により製造時に発生する廃棄物の削減に努めています。



### 生産管理における取り組み

シマダヤ(株)では商品の過剰生産、過剰在庫を抑制するために、関連部門で生販会議を実施しています。生販会議では直近の生販状況や在庫量の共有、見込みと対策を行い、商品だけでなくスープや包材等、原材料・資材の廃棄抑制にも努めています。また、毎週末、次週の販売見込み精度を向上させる取り組みとして、前年度の実績や天候予測を基に、週間計画を策定し、廃棄物の削減に努めています。

### 問題や課題の早期改善に取り組んでいます

シマダヤ東北(株)仙台工場では廃棄物削減に向けた取り組みとして、2021年度は自主保全活動と、量目不良品の削減に力を入れて取り組み、効果を出すことができました。例年に比べ、社内外研修を多く取り入れたことで、専門的な知識が身に付いたことに加え、各自が考え行動・実践するようになりました。

今後も、日々の生産の中で問題や課題を常に抽出し、早期改善に取り組み、廃棄物削減により一層取り組んでまいります。

シマダヤ東北(株) 仙台工場 小原 洋輔

## 物流

## 営業活動

### 商品サンプルの廃棄削減への取り組み

シマダヤ(株)では、商談や展示会等の営業活動における廃棄物の抑制に取り組んでいます。

お取引先様の展示会では、商品見本を現物から写真や食品サンプルに切り替え、廃棄物の削減に努めています。

また、お客様への商品提案や試食などに使用する商品サンプルの管理方法を変更し、適切な数量管理により廃棄物の削減に努めています。



## 原材料調達

## 商品企画・開発

## お客様

### ご家庭での食品ロス低減への貢献

お客様のご家庭での食品ロスを低減するために、常温で長期間保存可能な「長持ち麺」や、半分に割ることで食べる量を調整できるミニダブル製法の冷凍麺をラインアップしています。また、生中華麺は冷凍保存により、長期保存が可能となっております。

### 食品リサイクルの取り組み

シマダヤグループでは、各事業所で発生した廃棄物の再生利用を実施しています。廃棄になったものをただ捨てるのではなく、飼料や肥料、バイオガスへの再利用を推進することで、資源として有効活用し、環境負荷低減に努めています。



### 賞味期間延長への取り組み

シマダヤグループではお客様のご家庭や店舗での賞味期限切れによる食品ロスを防ぐため、賞味期間の延長に取り組んでいます。

様々な検証を重ねて、品質に問題が無いことを確認し、2022年秋冬商品より「太鼓判」や「健美麺」を中心としたセミLSうどん・そばの賞味期間を延長しました。







シマダヤグループでは、商品を通じた社会課題の解決に貢献する取り組みとして、国産・健康・簡便価値商品の開発を行っています。



### 国産原材料の使用推進

2 飢餓をゼロに 13 気候変動に具体的な対策を

- 国産原材料の使用による国内自給率向上
- 原材料の輸入時におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減

### 健康価値商品の開発

3 すべての人に健康と福祉を

- 生活習慣病（糖尿病、高血圧）患者数の増加
- 平均寿命と健康寿命の差
- 健康意識の高まり

### 簡便価値商品の開発

13 気候変動に具体的な対策を

- 簡便志向の高まり（時短・手軽さ）
- 調理時における水・ガス使用量の削減



## 2022年秋冬商品より家庭用うどん全品で国産小麦粉を使用しています\*

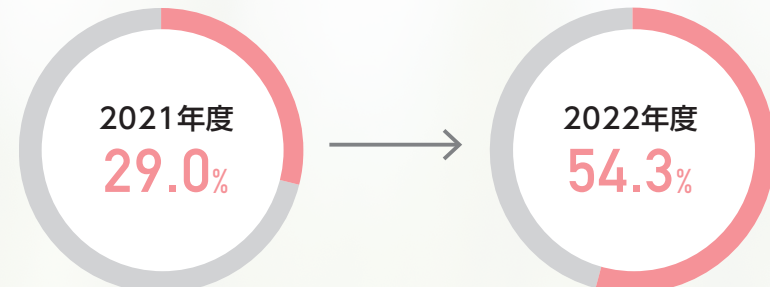
日本国内における国産小麦需要量比率は、小麦全体の20%弱となっており、国内食料自給率37%と比較しても、大きく下回っています。シマダヤグループでは、商品価値向上とともに、国産小麦粉の使用比率を50%以上に高めることで、食料自給率の向上と原材料の輸入に使われるエネルギーの削減に取り組んでいます。

※「手延べ勝り」うどん除く



「太鼓判」国産小麦のうどん 3食

【2022年度 年間国産小麦粉使用比率見込み】



(2021年度小麦粉仕入れ量ベースより算出)

## その他、国産そば粉や国産野菜の使用を推進しています



冷凍 北海道産そば使用石臼挽きそば 3食

「健康麺」国産そば粉使用食塩ゼロそば 3食



冷凍「シマダヤの鶏白湯まぜそば」

## 食後の血糖値上昇を抑える/糖質カット/食塩ゼロシリーズをラインアップしています

シマダヤグループでは、食塩ゼロや糖質カットなどの「健康麺」をラインアップし、美味しいめん食をお届けすることで皆様の健やかな食生活をサポートしています。



### 【「健康麺」を使用した場合】※通常メニューとの比較

一般的なうどん1食分 + 一般的なめんつゆ1食分



約3.7g 塩分を抑えられる

## エコ調理商品をラインアップしています

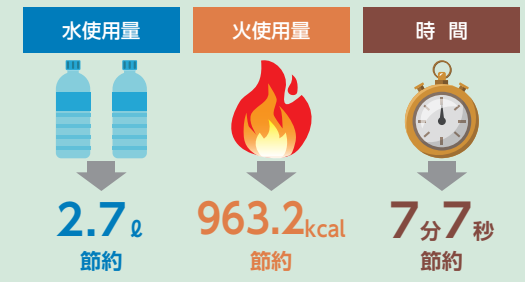
シマダヤグループでは、簡便価値商品の開発により、お客様の利便性向上のみならず、水や火の使用を減らす省エネ・省資源への取り組みを推進しています。



### 【「流水麺」そばを1食分調理した場合】

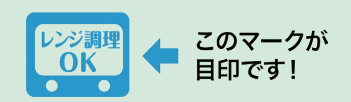
(水流量7.2ℓ/分、火力9.4kw/時間の条件下)

※シマダヤ調べ



### 【電子レンジ対応商品の拡大】

お客様からの要望を受け、2021年秋冬商品から、多くのゆでうどん・そばを電子レンジ調理対応に変更しました。





# シマダヤグループの社会・環境活動報告

## 安全・安心への取り組み

シマダヤグループでは、食品メーカーとしてお客様に安全・安心な商品をお届けする責任を果たすために、グループ全体で安全・安心への取り組みを推進しています。

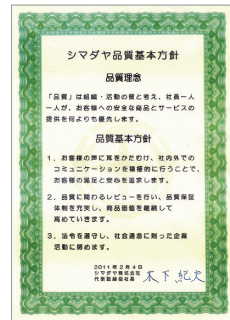
12 つくる責任  
つかう責任

規範1 規範2

## シマダヤグループの品質に対する考え方

シマダヤグループでは、「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。当方針では品質を商品品質としてだけでなく、組織や活動の質と定義しています。

また、シマダヤグループ工場では、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、HACCPを含む国際的な食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000に取り組み、2022年9月現在、全11工場で認証を取得しています。



## 安全・安心に配慮した商品製造

シマダヤグループ工場では、安全・安心な製品をお届けするために、各製造過程における異物除去装置の導入・運用や、製造現場の管理清掃、メンテナンス、微生物検査・官能検査等を実施しています。また、ハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上等、ソフト面の取り組みも重要と捉えて取り組んでいます。

### 社内一丸となり、安全・安心な製品を作っています

シマダヤ西日本(株)兵庫工場では、安全・安心への取り組みとして特に製品・生産ラインの衛生度維持を意識し取り組んでいます。より安全な製品を生産するために、管理職・品質管理担当者による巡回指摘をはじめ、従業員一人ひとりが社内ルールを順守し業務を行っています。また生産へ影響がない様、日頃から保全業務にも力を入れ、設備トラブルを抑制し社内一丸となり安全・安心な製品の生産を心がけています。

シマダヤ西日本(株) 兵庫工場  
村上 智信

## お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メールなどで寄せられるお客様からの様々なご質問に対し、迅速かつ正確にお応えすることを心掛けています。お客様からいただいた貴重なご質問やご意見は、日報やお客様相談室通信などにより関連部門に伝え、より良い商品づくりに活かしています。

### ① 「流水麺」稲庭風細うどん、「真打」稲庭風細うどんのパッケージの改良

お客様から「稲庭」の読み方が分からないという問い合わせが多く寄せられていました。

そこで「稲庭」に「いなにわ」とルビを振り、正しい読み方を伝えるとともに、秋田の名産品である稲庭うどんをモチーフにしていることをわかりやすくしました。



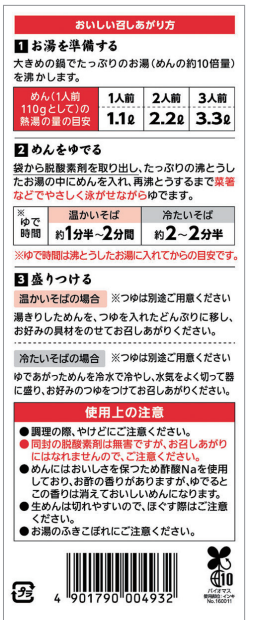
### ② 生そばの調理方法の表示見直し

お客様から寄せられた“生そばの美味しい調理方法を教えて欲しい”という問い合わせに対し、パッケージ裏面の調理方法を分かりやすく改良しました。

### お客様の満足と安心が得られるよう日々改善しています

お客様相談室では、商品の企画部門にお客様の声を直接聴いていただく機会を毎月設けています。日頃、生そばを購入されないお客様が、年に一度の年越しそばとして生そばを購入した際、おいしい茹で方を知らずに調理失敗をしてしまうという問い合わせが多く寄せられていました。そこで、調理失敗をなくす目的で、それまでの調理方法の表示を見直しました。実際は一度に複数人分を茹でることが想定されるため、必要な湯量を食数ごとに具体的に示し、文字や数字を大きく、太くしておいしく茹でるコツを整理しました。

お客様相談室  
五十嵐 和美



パッケージ裏面(例)

## 働きやすい環境づくり

シマダヤグループでは、従業員が安全で、働きやすい職場環境を確保するため、行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

8 働きがいも  
経済成長も

規範5

## ワークライフバランスの推進

シマダヤ(株)では、従業員の多様な働き方を推進するため、男女ともに仕事と育児を両立できるよう、職場環境整備や動画を活用した制度の周知などを実施しています。

### ① 仕事と家庭の両立支援に向けて

次世代育成支援対策推進法に基づき、柔軟な働き方を推進して従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、以下の行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

シマダヤ 行動計画	計画期間	2021年4月1日から2025年3月31日までの4年間	進捗状況*	男性社員：取得率50% 女性社員：取得率100%
	目標	計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準にする 男性社員：取得率30%以上とする 女性社員：取得率100%の維持		

### ② 女性の活躍推進に向けて

女性活躍推進法に基づき、女性が継続して就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために、以下の行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

シマダヤ 行動計画	計画期間	2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間	進捗状況*	全体24.8%
	目標1	計画期間内に、全社員に占める女性の割合を27%以上とする		
	目標2	計画期間内に、男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を70%以上とする		

\* 2022年3月現在



# コンプライアンス

シマダヤグループでは、リスクマネジメントの推進や従業員教育の実施により、コンプライアンスの強化・徹底を図っています。

16 平和と公正をすべての人に

規範3

## リスクマネジメントの推進

シマダヤグループでは、企業として持続・発展するために、その障害となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するために実行計画を策定し、取り組みを推進しています。

## コンプライアンス教育の実施

### 1. eラーニングの活用

シマダヤグループでは、コンプライアンスの強化を図るため、eラーニングを活用して「内部統制」や「企業・倫理」、「ハラスメント防止」などの社員教育を実施しています。

### 2. 個人情報保護法改正に伴う説明会の実施

シマダヤグループでは、2022年4月1日施行の改正個人情報保護法の周知・徹底のため、各部門へ説明会を実施しました。新たに追加・変更された要件や、お客様や従業員の個人情報の取り扱い方法など、適切かつ安全に個人情報を管理しています。

# 社会貢献活動

シマダヤグループでは、清掃活動や工場見学の実施など社会への貢献活動を実施しています。

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

規範6

## 地域清掃活動の実施

各事業所では、地域貢献及び環境意識の向上として定期的に事業所周辺の清掃活動を継続して実施しています。また、個人やグループでも地域の清掃活動に参加し、地域社会に貢献しています。



清掃活動の様子 (名古屋支店)

## 工場見学の実施/現場実習の受け入れ

シマダヤ東北(株)郡山工場では、地域小学校の工場見学の受け入れを行っています。工場見学では、製品の説明や麺の製造工程などを見ていただき、子どもたちからは「普段に目にするのできない麺の製造現場を知れ、貴重な体験ができた」という声をいただきました。

また、シマダヤ東北(株)古川工場では、現場実習の受け入れを行っています。実際に従業員と同じ作業を行う体験を通して、働く大切さや考え方などを養っていただくとともに、シマダヤグループの事業を理解していただいています。



現場実習の様子 (シマダヤ東北(株)古川工場)

# 環境取り組み

シマダヤグループでは、省エネ・省資源や食品ロスの削減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

3 すべての人に健康と福祉を

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

規範4

## シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、中期環境目的・目標を掲げ、それを達成させるために、各部門で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

### シマダヤグループ環境基本方針

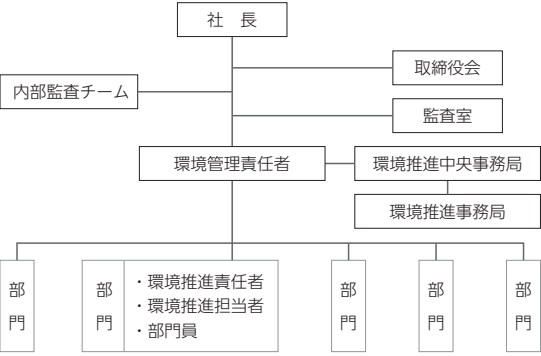
**環境理念**  
小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

**環境行動指針**

- 1. 環境関連法規の遵守**  
社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
- 2. 資源、エネルギーの有効利用**  
資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組みむとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
- 3. 継続的な環境改善**  
事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
- 4. 環境保全意識の醸成**  
情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
- 5. 情報の公開**  
環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

2004年1月19日制定  
2008年6月25日改訂  
シマダヤ株式会社 代表取締役社長 木下 紀夫

## 環境推進体制



## 活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者 (シマダヤの代表取締役)
	環境管理責任者	全社の活動の責任者
	環境推進中央事務局	環境管理責任者の補佐
部門の推進役	環境推進事務局	環境推進責任者、環境推進担当者の補佐
	環境推進責任者	部門活動の責任者 (活動の単位の部門長、グループ会社は工場長)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー

※ 部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上では、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

## シマダヤグループ中期環境目的の方針 (2019年度～2021年度)

グループ全体方針 「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」  
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

**生産物流本部方針**  
廃棄麺(スープ、具材、原料を含む)の削減と有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動をします

**営業本部、開発研究所方針**  
有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします

**管理部門方針**  
有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動をします



## 中期環境目的・目標 2021年度取り組み報告

### 重点テーマ 1 廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減並びに有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動の実行

中期環境目的	2021年度実績
工場の廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減(2018年度原単位比27%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度は47.9%削減となった。</li> <li>● 各工場では設備トラブルや人的ミスなどの廃棄要因に対し、廃棄削減プロジェクトでの廃棄要因の分析、保全活動及び従業員教育の推進などにより廃棄を削減した。</li> </ul>
SLC及び冷凍倉庫の廃棄物(スープ・具材を含む)の削減(2018年度重量比37%削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度は22.9%削減となった。</li> <li>● 営業部門との情報共有による販売見込み精度の向上や在庫の販売促進を行い、廃棄の削減につなげたが、天候要因などにより目標未達成となった。</li> </ul>
有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配送コース・配送便及び工場直送・倉庫在庫量の削減や、仕入れ便の車格を大型化し輸送回数を削減したことにより、CO<sub>2</sub>排出量を7.0%削減した。</li> <li>● 組織横断的なプロジェクト管理システムの導入やRPA化などによる業務効率化により、業務の生産性向上に貢献した。</li> </ul>

### 重点テーマ 2 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売

中期環境目的	2021年度実績
有益な環境影響(健康、簡便)をもたらす商品の拡売によるシマダヤブランドの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境配慮型商品の拡売に取り組んだが、長雨などの天候要因やコロナ禍での外食の落ち込みにより目標未達成となった。</li> </ul>
有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売によるシマダヤブランドの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍「健美麺」糖質30%カット稲庭風うどん、「流水麺」冷し中華など、健康・簡便価値商品の開発・改良を実施した。</li> <li>● 家庭用商品うどん(「手延べ勝り」うどん除く)の国産小麦粉化、2食入り焼そば及びラーメンのトレー無し包装化、プラスチックトレーの薄肉化等を具現化した。</li> </ul>

### 重点テーマ 3 有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動の実行

中期環境目的	2021年度実績
有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予算業務のRPA化や新経費精算システムの運用など業務効率化を実施した。</li> <li>● 書類のペーパーレス運用を推進し、業務効率化及び紙の使用量を削減した。</li> </ul>

## 環境に配慮した商品の開発・拡売～「JSH減塩推進10年アワード」を受賞～

シマダヤグループでは、2012年から減塩商品を発売するなど、減塩への取り組みを積極的に行っています。2022年6月には、日本高血圧学会 減塩・栄養委員会が紹介する「食塩含有量の少ない食品」の内から、2013-2022年の間に様々な分野で減塩食品の普及に大きく貢献した企業の製品として、「流水麺」うどん 2人前、「健美麺」食塩ゼロ 本うどん 1食、3食が「JSH減塩推進10年アワード」を受賞しました。



## 省エネ・省資源への取り組み

シマダヤグループでは、日々の業務において省エネ・省資源に取り組んでいます。生産工場では、省エネ機器導入による電力使用量の削減や設備更新によるガス使用量削減のほか、従業員教育や生産効率の改善に取り組んでいます。また、シマダヤ(株)では、商品包材の見直しによるプラスチック使用量の削減やシステム活用によるペーパーレス化を進めています。

シマダヤ関東(株) 埼玉工場  
**井上 剛志**

### 油タンク大型化による輸送時のCO<sub>2</sub>排出量削減

シマダヤ関東(株)埼玉工場では、油タンクの大型化を進めることにより、食用油輸送時のCO<sub>2</sub>排出量削減及び発注担当者の業務負担軽減に取り組まれました。

今回の取り組みで、油タンクの貯蔵量を大型化することにより、発注頻度を1回/3日から1回/2週と発注・納品頻度を1/4以下にすることができました。これにより、前年度比で輸送時に発生するCO<sub>2</sub>排出量を44.1%削減しました。

引き続き、関連部門と連携し、CO<sub>2</sub>排出量を削減できる取り組みを進めてまいります。

シマダヤ東北(株) 古川工場  
**吉田 弘康**

### 冷凍機の冷却効率改善による電力使用量削減

シマダヤ東北(株)古川工場では、電力使用量の削減として、省エネ機器の導入を検討していました。今回導入した省エネ機器は、事前にテストが可能であることから、効果が高いことを期待しテストを進めました。様々な冷凍機設備にてテストを行い、効果の高い設備へ優先して導入し、現在もテストを継続中です。中には効果の低いフリーザーの冷凍機もありましたが、応用した水質改善装置にて節電効果が高まるかを現在検証中です。今後も更なる電力使用量削減に向け取り組みを進めてまいります。

研究開発部  
**袖山 拓也**

### トレー薄肉化及びトレー廃止によるプラスチック使用量の削減

研究開発部では、2食入り焼そば及びラーメンのトレー無し包装化と、既存トレー包装商品の更なるトレー薄肉化によるプラスチック使用量の削減に取り組まれました。両テーマともにメーカー・グループ工場・関係部門と連携し、品質価値、機械適性・作業性を事前確認することで実用化ができました。また、トレー切替の際は各所在庫管理を徹底しトレー廃棄ゼロを達成しました。今後トレー無し包装の対象アイテムを広げると同時に、新たな環境配慮型包装技術の検討を進め、SDGsへの取り組みに貢献できるよう努めてまいります。

経理部  
**吉野 日向子**

### 立替経費精算のペーパーレス化によるOA用紙削減

経理部では、電子帳簿保存法改正によるスキャナ保存要件緩和を受け、従業員の立替経費精算の完全ペーパーレス化に取り組まれました。セミナー等で情報収集をしながら課題抽出を行い、テスト運用により対策した後、ユーザーに向けたマニュアルを配布し説明会を実施しました。運用開始後、結果として伝票約700枚/月の用紙削減や伝票郵送コスト削減、伝票検索の容易化等の効果につながりました。今後も業務効率化に向けて改善に努めます。

### ●シマダヤグループ2021年度資源使用量の前年比(2021年度シマダヤグループ環境会計より)





## 2021年度「社会・環境活動表彰」

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2021年度の活動においては、グループ全体で32件のエントリーの中から、6件が表彰されました。

シマダヤグループでは、引き続き、身近な取り組みをはじめとするグループ全体に広がりのある社会・環境活動の活性化を図ってまいります。



表彰状授与の様子

### 2021年度「社会・環境活動表彰」

部門名	活動内容
1 企画部、研究開発部	国産原料使用による食料自給率向上への貢献
2 シマダヤ関東(株)埼玉工場、原材料部	食用油タンク大型化による輸送時のCO <sub>2</sub> 排出量削減
3 シマダヤ関東(株)松戸工場	半食軽過量及び包装不良の削減等による茹で麺の廃棄削減
4 シマダヤ関東(株)前橋工場	割れ麺削減による廃棄削減及びフリーザー能力調整による電気使用量削減
5 シマダヤ東北(株)古川工場	冷凍機の冷却効率改善による電気使用量削減
6 シマダヤ東北(株)古川工場	冷水機・コンプレッサー集約による電気使用量削減

## ISO14001:2015の登録更新が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤ(株)と東京シマダヤ(株) (現 シマダヤ関東(株)東京工場) でISO14001の審査登録を受け、認証登録されました。その後、順次適用事業所を拡大し、2022年9月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社11工場が登録範囲となっています。

2021年度の審査では、22部門を対象にヒアリングや現場確認が行われ、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の事業所はリモートで審査を実施しました。審査の結果、ISO14001:2015の登録更新が承認されました。



## 新たな中期環境目的・目標 (2022年度～2023年度)

### 1 シマダヤグループ中期環境目的の方針

シマダヤグループは有益な社会・環境影響をもたらす活動を実践し持続可能な社会の実現に貢献します。

### 2 シマダヤグループ中期環境目的・目標

#### (1) 生産物流本部

##### 目的

- エネルギー由来CO<sub>2</sub>排出量の削減
- 廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減
- 省エネ・省資源及び業務の生産性の向上をもたらす活動の実行

#### (2) 営業本部・開発研究所

##### 目的

- 健康・簡便・国産原料使用商品の開発・拡売
- 環境に配慮した商品の開発・拡売

#### (3) 管理部門

##### 目的

業務の生産性の向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等をもたらす活動の実行



## 第三者意見

今年は長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ危機、異常気象など、原料調達や価格高騰などの厳しい経営環境の中、貴グループでは様々な取り組みを進展させていることに敬意を表したいと思います。昨年に引き続き、貴グループに環境のみならず社会の持続可能性に広く貢献していただきたいと願い、コメントいたします。

### 重要課題への取り組みへの更なる期待

- 食品ロスについては、貴グループでは、サプライチェーンの中での食品ロスに長年多くの工夫のもとに取り組まれています。残念ながら、昨年度は廃棄物と商品開発・拡売の場面で課題が未達であったとのことですが、今後引き続き意欲的に取り組まれるとのこと期待をしております。
- 2022年度及び2023年度の重要課題とされた「エネルギー由来のCO<sub>2</sub>排出量の削減」については、ウクライナ危機の影響もありますが、長期的には確実にカーボンニュートラル、脱炭素社会に向かっていきます。貴グループでも長期的視野でこれらの取り組みと連動していくことを期待しております。
- 働きやすい環境づくりについては、仕事と家庭の両立支援や女性活躍推進に向けて、それぞれの目標を定め、eラーニングではハラスメントも盛り込むなど積極的に進めておられます。今後は、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の考え方も取り入れて進めることを期待します。SDGsの目標8には、女性のみならず、若者、障害者、賃金など多様な労働に関わる内容が盛り込まれていること、また、発行が予定されている経済産業省の「責任あるサプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン」なども参考にされるといいでしょう。

### 社会貢献としての地域活動や工場見学等の取り組みの発展

毎年着実に社会貢献として、事業所周辺の清掃活動、そして工場見学や環境学習の受け入れ等に熱心に取り組んでおられます。これらを社会課題解決の推進役としての人材育成、そして消費者とともに持続可能な社会を構築していくための消費者教育へと充実させてはいかがでしょうか。これらは組織内外においての貴グループの社会課題解決への取り組みをいっそう進展していくことになると考えます。

### サステナビリティの観点でのガバナンス強化へ

昨年に引き続きのコメントになりますが、貴グループでは、環境については、マネジメントシステムで方針や推進体制を構築されていますが、今日、SDGsやESGに代表されるように、環境のみならず社会面も含めたサステナビリティへの取り組みが重要とされていることから、サステナビリティの観点での方針や体制づくり、更に長期戦略の策定を進めて行くことを期待します。

### 第三者意見を受けて

古谷様には、今年度も引き続き貴重なご意見を頂き厚く御礼申し上げます。当社グループは2019年度から3年間の中期経営計画に合わせた中期環境目的・目標に向かって活動を推進し、最終年度であります2021年度もコロナ禍及び厳しい社会情勢の中、環境目的・目標達成に努めて参りました。3か年の中期目標については、廃棄物の削減や環境配慮型商品の拡売目標に一部未達があったものの、総じて各部門の取り組み内容は評価できるものと思います。

今期よりまた新たに中期環境目的・目標を定めて取り組みを推進してまいります。いただいたご意見にありましたように「食品ロス削減」や「CO<sub>2</sub>排出量の削減」、また、SDGsに関連付けた社会・環境活動を更に推進し、ガバナンスの強化にも取り組み持続可能な社会へ貢献してまいります。



博士(総合政策)、サステナビリティ消費者会議代表

### 古谷 由紀子氏

#### プロフィール

■ 博士(総合政策)、サステナビリティ消費者会議代表、中央大学経済研究所客員研究員(2019年～)。(一財)CSOネットワーク代表。

■ 企業の品質、コンプライアンス、デジタルトランス、サステナビリティ等委員会の社外委員

■ 消費者庁、総務省、経済産業省等の審議会や検討会に参加。

■ 主な著作物には、「消費者志向の経営戦略」芙蓉書房出版(2010年)、「現代の消費者主権」芙蓉書房出版(2017年)、「企業の消費者教育の意義と責任」日本経営倫理学会(2017年)、「『責任あるビジネス』における実践と課題—国際合意・基準からの考察—」日本経営倫理学会(2020年)など



シマダヤ株式会社 専務取締役 人事総務部長 (環境管理責任者)

### 相馬 紳一郎